

令和 6 年度 北海道大学大学院経済学研究院
会計専門職大学院教育課程連携協議会

日 時 : 令和 7 年 3 月 4 日 (火) 13 時 00 分～14 時 00 分
場 所 : オンライン (Webex 会議)

参加者 : 旗本 智之 (小樽商科大学大学院商学研究科 教授)
富樫 正浩 (日本公認会計士協会理事 北海道会会長)
橋本 正太 (キャリアバンク株式会社 常務取締役)
三浦 淳一 (株式会社 JUNTEN BIO 取締役)
木谷 秋乃 (会計専門職大学院修了生である公認会計士)
春日部光紀 (北海道大学大学院経済学院専門職大学院長・
大学院経済学研究院 教授)
岡野 泰樹 (北海道大学大学院経済学院専門職大学院長代理・
北海道大学大学院経済学院 准教授)
平野 智久 (北海道大学大学院経済学院 准教授)

議 題 : 1 北海道大学大学院経済学院会計情報専攻の現状と方針について
2 その他

<議事>

春日部大学院長から、開会の挨拶の後、本会の説明と参加者の紹介があった。

引き続き、春日部大学院長から、資料を基にディプロマポリシー、アセスメントポリシー及びアセスメントチェックリストについて説明があり、併せて、近年の会計専門職大学院及び公認会計士試験の受験者数、合格者数の傾向や成績評価、各種アンケートの結果の現状について説明があった。

委員から、専門職大学院に期待するところとして、以前の試験合格者は下積みをして経験を積んでいたが、最近は分業で行い単純作業は行わなくなっているため、手続きや手順等の流れを学ぶ場を与えてもよいのではないかという意見があった。

また、委員から、北海道企業における公認会計士の求人はほとんどない状況にある。就職の際は、北海道以外で就職するので、時代に合わせた環境を整える必要があるのではないか、という趣旨の意見があった。

春日部大学院長から、今回頂いた意見を基に今後の専門職大学院での教育を改めて検討していく旨の発言があり、閉会された。